

ひとのちから

CLOSE * UP



こが・けんと 2000 年生まれ、府本下在住。荒尾第四中学校 3 年生。趣味はラジコン

熊本オールスターズ

古賀謙人さん

ことし8月、県内唯一の中学生男子ソフトボールチーム・熊本オールスターズは全日本中学生男子ソフトボール大会で初優勝しました。「チームの力で日本一になることができました。監督、コーチや両親など応援してくれた周りの人に感謝の気持ちでいっぱいです」と声を弾ませるのは、夢の舞台で仲間とともに栄光をつかみ取ったエースピッチャーの古賀謙人さんです。

小学1年生の頃から、古賀さんは父・政博さんが監督を務めていた荒尾府本ソフトボールクラブで姉・雛綺さんと白球を追い続けてきました。野球と違い、塁間やピッチャーとキャッチャーとの距離が近いため、迅速なプレーが求められるソフトボール。すぐにその魅力にはまり、めきめきと頭角を現すようになりました。

現在、学校の陸上部に所属し、平日は走り込み、週末はオールスターズの練習に参加する日々を送っています。暇さえあれば、父親とのキャッチボールも欠かしません。「学校

の勉強や部活もあり、忙しいですが、ソフトボールが大好きなので、毎日が充実しています」とにっこり。

しかし、そんな古賀さんでもソフトボールをやめたいと思ったことがあると言います。小学5年生のとき、膝の半月板を手術し、半年間、スポーツをできない時期がありました。チームに戻っても、体力が落ちてしまい、思うようなプレーができず、悔しい思いをしたそうです。「今回いい結果を出せたのは、何度も壁にぶつかってきたからだと思います。なりたいポディションに選ばれなかったり、いいピッチングができなかったり…だからこそ、悔しさをばねに人一倍、努力できたのだと思います」と振り返ります。

「いつか日本代表としてソフトボールの世界大会に出たいし、子どものときからの夢でもあるパイロットにもなりたい」と瞳を輝かせる古賀さん。どちらの道へ進んでも、自らの力で夢をつかみ取ってくれるはず。



1_熊本オールスターズのメンバーと。前列・左から3番目が古賀さん 2_大会前のアップの様子 3_荒尾府本ソフトボールクラブの子もたちと。前列中央が古賀さん